

# 一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会 ニュースレター

Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics

2022 年度 第 2 号 2023. 2. 22 発行



編集 大石 美佳 (庶務担当)

発行 家族関係学部会事務局

\*\*\*\*\* INDEX \*\*\*\*\*

- 部会長より
- 第 42 回家族関係学セミナー報告
- 『家族関係学』編集委員会より
- 第 43 回家族関係学セミナーのご案内
- 庶務 (会員管理担当) より
- 会計より
- 会員のメルマガを利用した情報発信について

\*\*\*\*\*

## ★ ☆ ★ 部会長より ★ ☆ ★

李 環媛 (岡山大学)

過日の大震災に見舞われたトルコ・シリアの皆様にお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

長引くコロナ禍のなか、2022 年 10 月 29・30 日に開催された第 42 回家族関係学部会セミナーは、大妻女子大学にてハイブリット形式で行われました。移動の制約を受けないオンライン参加も快適ですが、3 年ぶりに会場で対面することで得られる喜びを味わったことで、対面の魅力を改めて感じることができました。また、セミナーでは、「ポストコロナ時代の家族」というテーマでシンポジウムを開催し、韓国家族関係学会から 2 人のゲストを招聘、ご報告いただきました。様々な意味で充実したセミナーになりましたことに感謝申し上げます。実行委員長の永田晴子先生をはじめ、実行委員の皆様、ありがとうございました。

第 43 回セミナー (10 月 28・29 日) は、岡部千鶴先生を実行委員長として徳島文理大学 (徳島県) で対面とオンラインのハイブリット形式で開催する予定で準備しています。実行委員の先生方、どうぞよろしくお願いたします。多くの方のご参加をお待ちしています。部会誌『家族関係学』第 42 号は 2023 年 12 月に刊行予定です。投稿締切りは 2023 年 3 月 31 日です。皆様からのご投稿を期待しています。

新型コロナウイルスの発生から 3 年が経ちました。日本政府は、5 月から同ウイルスの感染法上の分類を季節性インフルエンザ同様「5 類」に引下げること決めました。新たにウィズコロナの日常が始まろうとしています。部会のセミナーをはじめ、研究活動においても、新たに得られたオンラインという手法を取り入れながら、より活発に進められることを期待しています。日本家政学会第 75 回大会は 5 月 26 日～28 日に東京家政大学 (東京都) で、4 年ぶりに対面で開催予定です。テーマは「家政学の発展と社会貢献」です。本部会も日本家政学会はじめ諸関連学会、団体とも連携しながら、引き続き、部会としての社会的役割と貢献について議論、探究し、その成果を発信していきたいと考えております。よろしくお願いたします。

## ★ ★ ★ 第42回家族関係学セミナー報告 ★ ★ ★

永田 晴子 (第42回セミナー実行委員長/大妻女子大学)

第42回家族関係学セミナーは、2022年10月29日・30日に大妻女子大学を会場として、対面およびオンライン (Zoom) のハイブリット形式で開催いたしました。第38回セミナー以降、3年ぶりの対面および2日間の開催となり、第1日目は公開シンポジウムと総会、第2日に自由報告を行いました。プログラム別の参加人数は、公開シンポジウム84名 (対面参加35名、オンライン参加49名)、自由報告62名 (対面参加28名、オンライン参加34名)、総会40名 (対面参加23名、オンライン参加16名) でした。

第1日目の公開シンポジウムは、「ポストコロナ時代の家族」というテーマで、日本家政学会活動助成を得て開催されました。また、韓国家族関係学会 (KAFR) との学术交流として、オンライン参加でのご報告となりましたが、ゲストをお招きして開催することができました。まず、第1報告では小川真理子氏 (東京大学・特任准教授) が「コロナ禍におけるDVと家族—子育て期の母親と子への影響—」と題し、国内のDV被害と支援の実態や法制度の動向とシンガポールの支援政策を取り上げ、DV対応の問題と課題についてご報告くださいました。続く第2報告では、崔喜晶氏 (成均館大学校・教授) が「ポストコロナ時代の韓国家族研究の方向と課題」と題し、コロナウイルスの感染拡大が韓国家族に与えた影響について、韓国における調査研究をもとに論じ、今後の家族研究の方向と課題を提示されました。そして第3報告では、杉井潤子氏 (京都教育大学・教授) が「人生100年時代における人と人との距離と関わりの変化—コロナ禍での身体的距離の確保をきっかけとして—」と題して、コロナ禍によって意識化されるようになった人と人との「距離」に着目し、個人と家族・地域社会での「距離」と関わりの変化とこれからのことについてご報告くださいました。最後に第4報告では、閔周泓氏 (済州大学校・副教授) と吳承恩氏 (済州大学校・教授) が「COVID-19と社会的関係の変化—韓国済州地域の家族を中心に—」と題して、家族間、親族間、地域社会内隣人間の交流に与えた影響について、済州地域の調査結果も交えながら報告してくださいました。それぞれのご報告内容を受けて、コメンテーターの李秀眞氏 (弘前大学・准教授) より、家族と過ごす時間が増えたことによる家族員個々人の生活へ与えた影響と家族の機能と役割の視点から問題提起がなされ、参加者からの質問と合わせて、活発な議論を行いました。司会は安達正嗣会員と黒川衣代会員が担当しました。

第2日目の自由報告は1会場での開催となりましたが、対面参加での報告が5報、オンライン参加での報告が2報、計7報告がありました。座長には、磯部香氏 (高知大学) と冬木春子氏 (静岡大学) にお世話になりました。それぞれ活発な質疑があり、有意義な時間となりました。

公開シンポジウム終了後にアンケートをGoogleフォームにてお願いしたところ、14名の参加者の方よりご意見や感想をお寄せいただき、部会への期待と情熱を強く感じました。日韓学术交流によるシンポジウム企画への期待やハイブリット開催の利点に対するご意見とともに、実行委員会への温かい言葉も頂きました。その一方で、報告時の逐次通訳に対するご意見や、会場音声オンライン上で一部不鮮明だったことのご指摘もあり、今後、ハイブリットで開催する際の改善点も見えてきました。

初めてのハイブリット開催となりましたが、皆さまのご協力を賜り、大きなトラブルも無く無事終了することができました。心よりお礼を申し上げます。

第42回家族関係学セミナー実行委員会：赤松瑞枝・安達正嗣・李 環媛・李 秀眞・井上清美・黒川衣代・中川まり・平野順子・八巻睦子・永田晴子

★ ☆ ★ 『家族関係学』編集委員会より ★ ☆ ★

表 真美 (編集委員長/京都女子大学)

○ 『家族関係学』42号への投稿論文の募集

『家族関係学』No.42への投稿原稿を募集いたします。多くの会員のみなさまから力作が寄せられますことを期待しています。

40号から、投稿はメールのみの受付となり、投稿規程、執筆要項も改訂されています。HPをご確認ください。原稿には、本部会ホームページからダウンロードした「投稿申込表紙」を添えて、MSWord形式およびPDF形式のファイル両方を、編集委員会(下記アドレス)宛にメール添付で送付してください。ご投稿をお待ちしています。

メール投稿締切期日：2023年3月31日(金) 24:00

編集委員会 E-mail edit★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

○ 書評・文献紹介の対象となる図書情報の募集

書評・文献紹介の対象となるご著書等の情報を、ぜひお知らせください。2022年5月1日から2023年4月30日までの間に刊行され、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象とします。自薦、他薦いずれも歓迎します。

編集委員会書評・文献紹介担当まで、1冊、献本をお願いします。もしくは、書誌情報【著者名・編者名、書名、発行年月日、発行所、税込価格、ISBN、執筆部会員名】をE-mailでご連絡いただければ幸いです。なお、ページ数に限りがあるために、すべての著作を取り上げることはできませんのでご了承ください。

締め切りは、2023年5月1日(月)とします。

〈書評・文献紹介担当〉

〒 310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部 佐藤裕紀子 宛

Tel: 029-228-8281 Fax: 同左

編集委員会 E-mail: edit★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

## ★ ☆ ★ 第43回家族関係学セミナーのご案内 ★ ☆ ★

岡部 千鶴 (第43回セミナー実行委員長/徳島文理大学)

第43回家族関係学セミナーは、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部にて開催します。参加及び自由報告申し込み方法、セミナー詳細についてのご案内は、5月を予定しております。現時点では、対面とオンラインを併用した形での開催を目指して準備を進めております。徳島は地理的に不便な場所ですが、オンラインを併用いたしますのでご安心ください。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日 程：2023年10月28日(土)～29日(日)

会 場：徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180

アクセス：空路の場合 徳島阿波踊り空港からリムジンバス(約30分)で徳島駅  
陸路の場合 (JR) 岡山方面(高松乗り換え)から約2時間で徳島駅  
陸路の場合 (高速バス) 神戸・大阪方面から約2～3時間で徳島駅  
\*徳島駅前から徳島市営バスで約15分「文理大学前」下車

## ★ ☆ ★ 庶務(会員管理担当)より ★ ☆ ★

山下 美紀 (庶務/ノートルダム清心女子大学)

- ご住所・ご所属の変更、入退会のご希望については、下記までご連絡ください。
- 2017年度から学生会員の年会費が減額されております。会員区分に変動があった場合(たとえば学生会員から正会員へ)は、お手数ですが、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 情報提供のお願い

メールアドレス不明：遠藤 マツエ・川村 千恵子・田中 弓子・松尾 敏之(敬称略)  
※連絡先の情報をお持ちの方はご連絡ください。

- バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号(9冊)、31号(8冊)、32号(9冊)、33号(6冊)、34号(10冊)、35号(10冊)、36号(5冊)、37号(31冊) 38号(21冊) 39号(53冊) 40号(43冊) 41号(50冊)です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年7月から、ヨシミ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、ヨシミ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：ノートルダム清心女子大学 山下美紀

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 Tel : 086 - 252 - 2142 Fax : 086 - 252 - 5145

E-mail: inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局) ★を@に置き換えてください

## ★ ★ ★ 会計より ★ ★ ★

森田 美佐 (会計/高知大学)

2022年度および過年度の年会費未納の方は、**2月28日(火)までに**年会費を振り込んでください。会計の都合上、期日厳守をお願いいたします。また、学生会員の年会費が2017年度より減額となっております(正会員5,000円、学生会員2,000円)。学生会員として年会費を振り込む場合は、必ず学生証の写しを下記までお送りください。郵送でもPDFや画像で送っていただいても構いません。

2023年度に学生会員として入金を希望される方については、提出期限や提出方法など、今後のニューズレターでご案内いたしますので、そちらをご確認ください。なお、学生会員の場合は2年分の会費を前納することはできません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：(郵便振替) 00310-6-30229 家族関係学部会  
連絡先：高知大学 森田 美佐 〒780-8520 高知市曙町2-5-1  
Tel：088-844-8421 E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)  
★を@に置き換えてください

## ★ ★ ★ 会員のメルマガを利用した情報発信について ★ ★ ★

大石 美佳 (庶務/鎌倉女子大学)

家族関係学部会にかかわる活動で、会員間の相互交流や研究活動の発展に資する情報の配信を希望する方は、下記の要領で、事務局メールアドレスまで情報をお寄せ下さい。なお、発信内容が不適切であると役員会が判断した場合、情報が掲載されないこともあります。

<メルマガ配信依頼について>

【依頼先】 inquiry★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

【メールの件名】メルマガ配信依頼

【配信内容】メール本文に①～④の内容を記載してください。

①情報のタイトル(「〇〇のご案内」など)

②配信内容(概ね600文字以内)

③主催者

④問合せ先

\*配信できるのはテキストデータのみです。ファイルを添付することはできませんので、ウェブサイトへのリンク等でご対応ください。

【メルマガ配信予定】年4回(5月・7月・9月・10～12月)

☼++☼

<家族関係学部会事務局>

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

ノートルダム清心女子大学 山下美紀

Tel：086-252-2142 Fax：086-252-5145

E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

メルマガ配信アドレス：info★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

家族関係学部会ホームページのURL：http://kazokukankeigaku.jp

☼++☼